

- ▶北区では、森林環境譲与税について、子どもが木材に親しむ環境づくりに寄与する事業に優先して充当する方針。
- ▶令和3年度においては、区立飛鳥中学校のリノベーション改修工事において、昇降口や廊下、体育館の内装に木のルーバーを採用し木質化を行った。

□ 事業内容

学校改築に伴う内装の木質化

- ・飛鳥中学校リノベーション事業（令和4年4月開設）
校舎及び体育館内装木質化ほか
- 【事業費】678,944千円（うち譲与税28,142千円）
- 【実績】国産材使用量 20.4m³



□ 工夫・留意した点

・躯体を残したスケルトン改修という自由度が制限された中で、木材を効果的に活用した。体育館と武道場は、既存床の研磨塗装と、新設したルーバーや腰壁が、改修前の面影を残しつつ新たに加わった自然の温かみが、愛着ある施設づくりを実現した。また、配管を設置した廊下天井は圧迫感が懸念されたが、木ルーバーの設置により、圧迫感の軽減と高級感あるデザインとなった。

□ 基礎データ

①令和3年度譲与額	28,142千円
②私有林人工林面積（※1）	0ha
③林野率（※2）	0%
④人口（※3）	355,213人
⑤林業就業者数（※4）	1人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より、
※4：「H27年国勢調査」より